



あなんカルチャー

■ 阿波人形浄瑠璃芝居 中村園太夫座（岡花座）公演

新野町岡花地区に伝わる人形座「中村園太夫座」は、地区の名前から「岡花座」と呼ばれ親しまれています。伝承の技芸は、新野中学校民芸部など若者にも受け継がれています。郷土の誇り「阿波人形浄瑠璃」の舞台をお楽しみください。



日時 1月26日(日) 13:00開演 (12:30開場)
場所 夢ホール (文化会館)
演目 ①式三番叟 ②恵比寿舞 ③傾城阿波の鳴門 (伝承) 順礼歌の段【人形：新野中学校民芸部】・十郎兵衛内の段 ④一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段
入場料 100円 (高校生以下無料)
チケット販売場所 文化会館、情報文化センター、市民会館、平惣書店 (阿南センター店、羽ノ浦国道店)
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
 ※無料託児あり (1週間前までに要申込)
問い合わせ 文化会館 (☎21-0808) へ

■ 宝くじ文化公演 「映画音楽とオペラアリアへの誘い」

とある弁士の生涯を落語家が語り、声楽家が歌い、オーケストラが織りなす感動の物語をお楽しみください。
日時 1月18日(土) 15:00開演
場所 夢ホール (文化会館)
出演 弁士・司会：桂 米團治
 指揮：船橋洋介
 歌：尾崎比佐子、松本薫平ほか
 管弦楽：関西二期会オペラアンサンブル
曲目 ひまわりより「愛のテーマ」
 カルメンより「闘牛士の歌」ほか
入場料 全席指定 (一般3,000円、高校生以下1,500円)
 ※宝くじの助成による特別料金です。
 ※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください。
 ※無料託児あり (1週間前までに要申込)
チケット販売場所 文化会館、アピカ、フジグラン阿南、平惣書店 (阿南センター店、羽ノ浦国道店、小松島バイパス店)
問い合わせ 文化会館 (☎21-0808) へ



■ 明治大学マンドリン倶楽部演奏会 前売りチケット絶賛発売中

クラシックからポップスまで、懐かしく親しみやすい音色を存分にお楽しみください。
日時 3月4日(火) 18:30開演 (18:00開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
ゲスト ダ・カーポ
入場料 全席自由 2,500円 (当日500円増し)、2枚セット4,500円、3枚セット6,000円
チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、ミリカホール、平惣書店ほか
問い合わせ 情報文化センター (☎44-5000) へ



阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会
 会長 湯 浅 良 幸

徳島藩の足軽

足軽について「広辞苑」には「平常の駆使、雑役に服し、戦時には武家の歩卒となるもの」とあり、武家と認めていない。つまり雑兵である。「日本史広辞典」には「足白、足弱、疾足」ともいうとある。やはり雑兵である。

徳島藩では高取士分 (家老から高取諸奉行まで) 六一〇人、士分 (大小姓から小奉行まで) 一三五一人、無格の奉公人 (御目見以下、足軽) 一七四人いた。時代により多少の変動はあった。

藩によっては「士分」以下として足軽、中間、小人を扱っている。中間とは士分と小人の間なので中間とあった。

徳島藩では士分と足軽の身分は著しく相違したが、履物にしても士分は白足袋、足軽以下は紺足袋である。大小二本指しているが、詳しくは書かないが服装を見ると一目して身分が分かった。

たとえば、士分と往来で会うと履物をぬぎひざまずく。相手の顔を見てはいけない。土佐藩ではもつとひどくて雨天でも道端に土下座させられた。

「魏志倭人伝」邪馬台国の条に「下戸大人と道路にて会うと草に入るかあるいはひざまずく」とある。邪馬台国の時代と大差ない。

渡し船に乗る時も、足軽は士分の先に乗る土分の後から降りる。明治維新によって戸籍が編成された時、大名、公家は華族、士分は士族、足軽は卒族となった。明治四年戸籍の改正によって卒族は廃止された。その時、卒族は士族と平民に分けられた。

さて、大事なのが所得。一般的に足軽は五石二人扶持から六石二人扶持。一人扶持は一日五合下付され、一年で一石八斗二升五合となる。これでは生活は苦しい。しかし、五石一人扶持でも少ないが、最低に三石一人扶持があった。庶民からは三石

侍(さんびん)といつて馬鹿にされた。徳島藩での足軽の職務は、戦時中は持弓、持筒(鉄砲)、長柄(槍)、旗持ちだった。平時では城や蔵の番、藩主外出時の供、警備、飛脚、密偵だった。普請(工事)の際、労役に従事させられた。

しかし、準士分としての特権もあつた。士分は足軽や百姓、町人を手討ち(無礼討ち)にすることが許された。役所へ届け出ただけで責任は問われなかった。手疵を負うとお咎めを受けた。無礼というのは己の判断によるもので己の感情だけで相手を切り殺しても罪にはならなかった。

(終わり)



足軽

特別観望会

「冬の天の川をめぐる」 (有料・要申込)

冬の天の川に沿って、星雲や星団を大型望遠鏡で観察します。
日時 1月24日(金) 午後7時～9時
参加方法 事前に電話、またはホームページからお申し込みください。
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料
 ※悪天候の場合は中止

おもしろ科学実験 (無料)

日時 土・日曜の午前11時～、午後2時20分頃の2回実施。(冬休み期間中は、平日午後2時20分～も実施)
 ※テーマ等はお問い合わせください。

わくわく科学の広場 「あ、消えた! あ、見えた!」 (無料)

光の性質を利用して、見えたり見えなかつたりするおもちゃを作ります。
日時 1月13日(木) 午前10時30分～、午後1時30分頃の2回実施
参加方法 当日、開始時間までにお越しください。予約は不要です。

コスミックカレッジ

参加者募集 (有料・要申込)

小中学生を対象にした体験型天文講座です。

●キッズコース

2月15日(土) 午前10時～午後3時
 対象…小学1～3年生とその保護者
 定員…25組50人

●ファンタメンタルコース

2月16日(日) 午前9時30分～午後4時
 対象…小学4年～中学生
 定員…30人

参加方法 参加申込用紙(市内の児童・生徒には1月中旬に学校を通じて配布)に必要事項を記入し、科学センターに持参・郵送、またはホームページからお申し込みください。

参加料 1人500円 (引率の保護者は無料)

問い合わせは 科学センター

(☎42-1600) へ
 1月の休館日
 1日(例) 3日(金)、6日(月)、14日(火)、20日(月)、27日(月)



科学
センター

ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>